

トラック03: エピローグ

ミカエラ:

お〜い、大丈夫かぁ〜

やー、だからごめんって...

あたしもちょ〜っと盛り上がりすぎちゃったというか...

ほら、魔法で3人に分かれてたし？性欲も3倍というかなんというか...

天使だって性欲あるんですぅ〜、エッチなこと好きなんですぅ〜

ほら、人間って趣味や娯楽がなくて暇になると、なんかエッチしたくなるじゃん？

天使って、実はすごく暇なんだよ

まあでも、あれだね

あの後たくさん出して君のキンタマ空っぽにしたけど...

光り輝く精子出なかったね...出たのは濃厚などろどろのだったね、残念ながら

まあ、なので...大変申し上げにくいんだけど...

このままだと君死にます、性癖のせいで

あー待って待って！

そんな絶望的な顔しないで...！

まだ大丈夫だから、まだ猶予あるから...！

きっと...たぶん？

だからそんな顔しないで、ね？

あたしもたくさん協力するからさ

この先もいろいろ試せばきっと真の性癖も見つかるよ

そしたら、こう...光り輝く精子が...どばっと...

ぶふお...ご、ごめっ...光り輝く精子が...なんかツボで...
ま、まあ久々の下界を満喫したくなってきたし？
君の真の性癖を探しながら下界の生活を楽しむとするよ

このまま帰るとクソババアに何か言われそうだし

ようし！そうと決まればまずはあたしの生活品を買いに行かないとね

...え？ここに住むよ？
だってそうじゃないと君の真の性癖みつけれないじゃん
あ、そこにもう一つベッドおけそうだね☆

まあまあ...一家に一人、天使がいると便利ですよお
あんなことやこんなこと以下略

とりあえず次にどんなことを試すかは考えておくとして...
くすっ、これからもよろしくね、不幸な変態さん♡